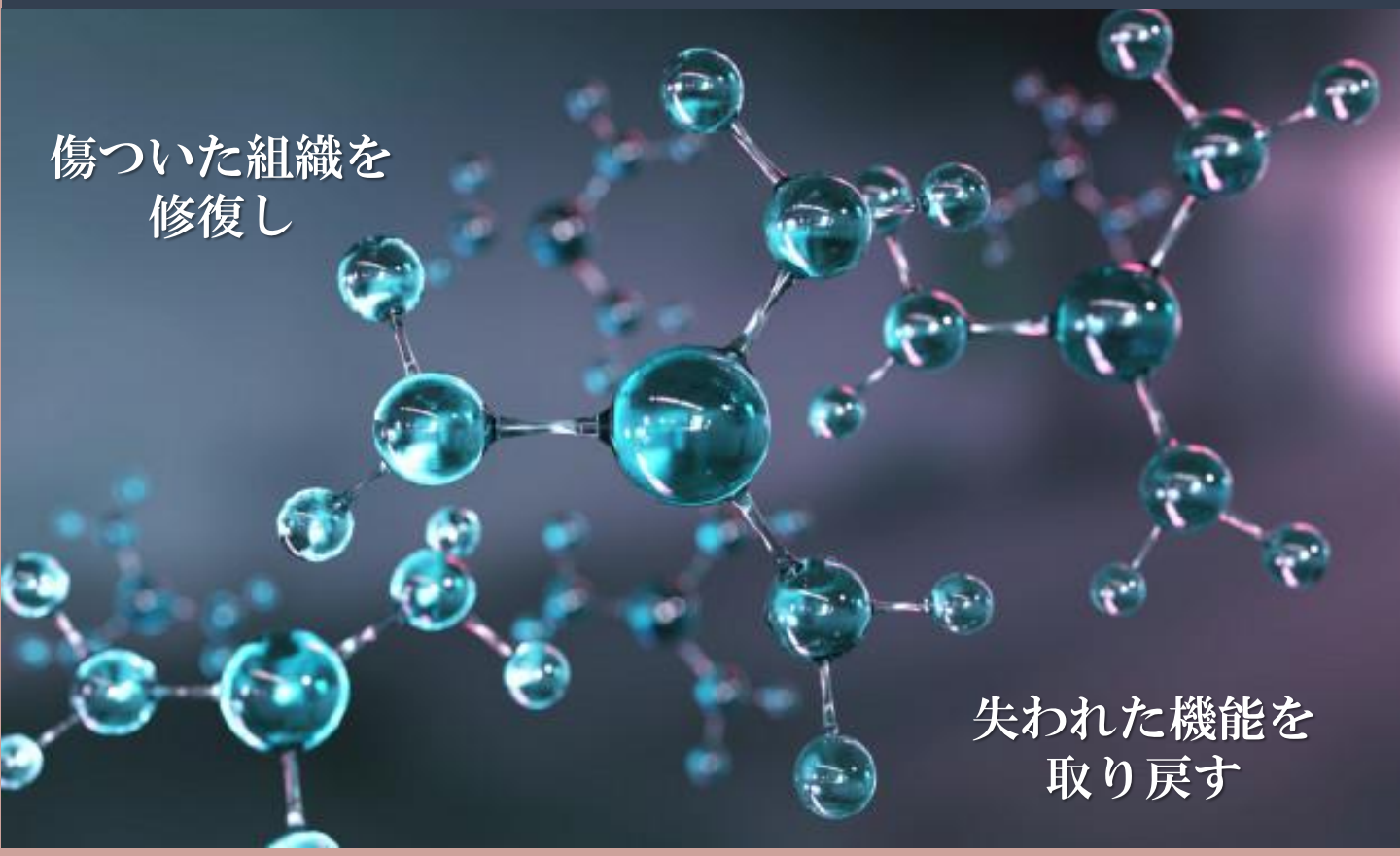
Adipose-derived stem cell therapy

脂肪由来幹細胞を用いた肝障害治療



医療法人財団 健貢会　東京クリニック
TOKYO CLINIC

沈黙の臓器 肝臓が悲鳴をあげるとき　　-肝障害とは-

肝臓の機能が障害されている状態を「肝障害」と呼びます。

肝障害の主な原因は、ウイルスによる肝炎、
お酒の飲みすぎでのアルコール性肝障害、
薬剤の服用によって起こる薬物性肝障害、
自己免疫の異常による自己免疫性肝障害など
さまざまです。

最近は、お酒をあまり飲まない人でも、肥満、
糖尿病、脂質異常症、高血圧などのメタボリック
症候群に伴う脂肪肝も問題になっています。

軽度であってもこれらの肝障害をほっておくと、
肝炎、肝硬変、肝がんへと肝臓の病気が
進行してしまうことがよく知られています。

●従来の肝障害の治療法●

①抗ウイルス薬
ウイルスによる肝炎は、抗ウイルス薬での治療が必要です。

②副腎皮質ステロイド
自己免疫性肝炎では、暴走した免疫をコントロールするため使用します。

③禁酒・食事療法・運動療法
脂肪肝では、禁酒や食事療法・運動療法などのメタボリック症候群の治療が大切です。

まず、原因に対応したこれらの従来の肝障害の治療をしっかりおこなうことが必要です。

●間葉系幹細胞治療●

間葉系幹細胞は、

✓体内の損傷部位に集まる能力をもつ
✓損傷部の再生・修復を促進する様々な生理活性物質を産出する

といった特徴をもちます。

そのため、肝障害に対する再生医療の研究が盛んにおこなわれ、肝臓の炎症を抑えたり、肝細胞の増殖を助けたりすることで肝機能の回復を促すことが報告されています。

再生医療の対象となる疾患：

肝障害（脂肪肝・肝炎・肝硬変など）

対象となる方	除外基準
☑18歳以上の方 ☑標準治療で肝障害が持続している方 ☑標準治療をおこなえない方で血液検査や腹部超音波検査などにより肝障害が認められた方など	☑悪性新生物が存在する場合 ☑未治療の活動性の感染症が存在する場合 ☑妊娠中・授乳中の女性など ＊その他医師が不適切と診断した場合

●幹細胞治療の流れ●

診察・相談

◆電話などで診療の予約を取ってからご来院ください

◆担当医の診察をうけ、これまでの治療を確認し、現在の障害の程度や病状の進行具合などに応じて幹細胞治療の適応など、治療方針を相談します

脂肪採取

◆患者様の腹部から約10～20 gの脂肪組織と培養時の栄養分をとるための血液（30～60 ml）を採取します

◆脂肪組織から間葉系幹細胞を培養するために、国の許可を受けた細胞培養加工施設に検体を運びます。

細胞培養

◆この細胞培養加工施設において間葉系幹細胞の分離と培養をします

◆細胞の安全性や品質を管理するための各種試験をおこないます（培養と品質検査には約4週間かかります）

投与・評価

◆培養した間葉系幹細胞を静脈から点滴投与いたします

◆担当医と相談したスケジュールで、投与後の経過観察をおこないます

●考えうるリスク・副作用●

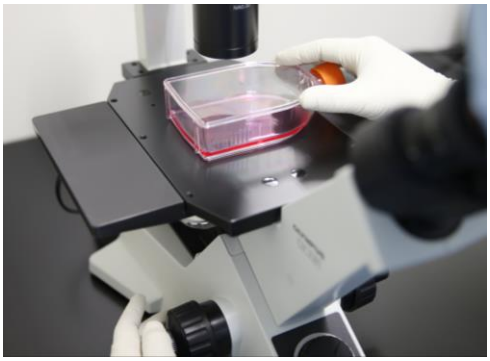
脂肪組織採取に伴うもの：内出血、腫脹、術後感染、術後瘢痕など
幹細胞投与に伴うもの：注射部位の痛み、アレルギー反応、肺塞栓など

●細胞加工施設のご紹介●

患者様からお預かりした脂肪組織は、下記の施設に運ばれます

（株）日本バイオセラピー研究所の細胞加工施設（厚生労働省により法律で定められた特定細胞加工物製造事業者として許可を取得　施設番号 FA3160002）

この細胞加工施設で、厳しい品質管理のもとに安全で質の高い間葉系幹細胞の培養がおこなわれます。



「脂肪組織由来間葉系幹細胞による肝障害の治療」の費用

脂肪採取と初回投与 （組織採取時までにお支払となります）	2回目以降の投与 （投与日程3週間前までにお支払となります）
4,000,000円	3,000,000円

※初診料、検査料、消費税別途
※日本の健康保険証を持たない外国人患者の場合の料金です

医療法人財団 健貢会

東京クリニック

〒100-0004
東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル1階、地下1階、地下2階

再生医療/免疫療法 直接番号
TEL. 03-3516-7165

https://www.tokyo-cl.com